

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年7月1日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月1日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、2ページ目ですけれども、7月5日の（5）第1058回の審査会合です。これは特重が議題になるので、非公開になっています。

議題は1つで、東海第二の設工認ということになります。前回5月24日のコメントへの回答ということです。

次が、7月5日の（6）量子科学技術研究開発機構部会ということで、これは毎年この時期に行っているものですが、QST（量子科学技術研究開発機構）の前年度の業務実績の報告を受ける審議会ということになります。それが議題1、令和3年度と書いてあるものです。

それに加えて、今年度は、QSTの中長期目標、これは7ヶ年の目標なのですが、最終年度となりますので、その中長期目標期間中の実績の報告というものもあります。

今回、この部会をやった後で、今後、8月までに昨年度の業務実績の評価と、あと、今年度中に、来年度以降の新しい中長期目標の決定というのが委員会で行われることになりまして、そういう手順の一連の最初のものということになります。

次が、3ページ目に行きまして、7月5日の（8）第1059回審査会合ですけれども、これは議題は2つありますが、2つとも関西電力関係の火災感知器のバックフィットの設工認ということになります。

1つ目が大飯の3・4号機で、これは今回2回目なので、前回のコメント回答などです。

あとは、新しく申請のあった美浜の3号機と高浜の1から4号機です。いずれにしても両方とも関電関係の火災感知器のバックフィットの設工認ということになります。

あとが、7月7日の（10）緊急時対応に係る訓練及び規制の関与の在り方に関する会合ということですが、これは3回目とありますが、2月、4月に続いて3回目ということになります。

議題は2つありまして、1つ目が事業者からの意見とありますが、前回、4月は九

州電力と関西電力から取組状況とか課題とか意見を聞きましたけれども、今回は四国電力からということになります。

それに加えて、議題2として、訓練の在り方や規制の関与の在り方について、今後の検討方針というのを規制庁側から示すということになります。

最後が、一番下、3の委員の現地視察等というところでけれども、7月7日に山中委員が北陸電力の志賀発電所を視察します。

現地での取材と、視察の終了後の山中委員への取材が可能で、具体的には発表しているとおりです。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—